

【Iテサロニケ人への手紙 2章】

「私たちは神に認められて福音をゆだねられた者ですから、それにふさわしく、人を喜ばせようとしてではなく、私たちの心をお調べになる神を喜ばせようとして語るのです。」(Iテサロニケ2:4)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.12.9 No.713

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>

先週もゴスペルクリスマスコンサートをしましたが、よく耳にする「ゴスペル」って何でしょうか? 「良い知らせ」 Good News です。「福音」です。地上で苦しみ、悩み、病氣、死で絶望し滅びに向かっている人間を救い出す為に、神様が御子を遣わし、人間の罪をその身に負われ十字架で死んでくださったこと。3日目によみがえられ、今も信じる者と共におられるという素晴らしいニュースを信じることです。(Iコリント15:1～8) 神は福音にあずかったパウロをじっと見てよしとされ、神に認められて福音を委ねられましたが、私たちをも見ておられます。福音を伝える人の誘惑は、人に喜ばれよう、人の歓心を買おうとすることですが、神を喜ばせるべきです。その時、人に嫌われたり、迫害されたり、仲間はずれにされたりすることもあります。が、恐れてはなりません。「義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。」マタイ5:10 (1～12節にはどのような姿勢で伝道すべきかが述べられています。)

ところが、神様を悲しませていることがあるのです。7つの恐るべき罪・・・高ぶり・怒り・妬み・不品行・暴食・怠り・強い欲心・・・(神がしてはならないことをすること、しなさいということをしなさいこと、神を信じないこと) 聖餐式の時に悔い改めましょう。自分の心をチェックしてみましょう。

13節「～神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。」Iさんは県の美人コンテストに選ばれました。それを妬んだ同僚はIさんの顔に硫酸をかけ、その顔は見るも無残に醜く変わってしまいました。Iさんは入院中に十字架の贖いを学び、自分の為にイエス・キリストが死んでくださったことを知り「赦しなさい。」という神の言葉を受け取りました。自分の人生を台無しにした硫酸をかけたあの人を、勿論赦すことはできませんでしたが、神の言葉はIさんの心に変化を与えました。Iさんは刑務所にいる硫酸をかけた人に「あなたを赦します。」と自分の証しを手紙に書き、出所の日に彼女を迎えに行き一緒に住むようになったそうです!! 何という赦しと愛でしょう。

ご飯を食べるように、毎日毎日聖書の言葉を霊の糧としましょう。神の言葉は平安を与え、ある時は悔い改めを与え、神様の喜ばれる道へと私たちを導いてくださいます。

しかし、18節「～サタンが私たちが妨げました。」私たちが神様の祝福を受けることを一番嫌って、サタンが働いているのです。サタンは聖書の始めから終わりまで出てきます。(創世記3:1～黙示録20:10) 人間に疑いや惑わしを与えて、神の愛のご計画に聞き従わないように邪魔します。私たちに祝福を与えてくださる神様からのメッセージか自分の思いなのか、あるいは、表面は素晴らしく見せて、実は私たちが地獄に追いやってしまうサタンからの攻撃なのかを見分けて、悪しき物を主のみ名によって追い出し、悔い改めるべき罪があれば悔い改め、イエス様の血潮によってきよめいただきます。私たちの日頃語る言葉は大切です。神を崇める言葉、親切な人の徳を高める言葉を語り、神を崇めて、神を喜ばせ、福音を語ってゆきましょう。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。